

千代田中部少年野球クラブ優勝!

〜神埼市長杯少年野球大会〜

7月8日、16日、23日に千代田町筑後川運動公園グラウンドで第2回神埼市長杯少年野球大会が行われました。

神埼町、千代田町内の各小学校から1部、2部(1部に出場していない5年生以下)にそれぞれ6チームが出場し、熱戦を繰り広げました。

1部、2部とも千代田中部少年野球クラブが優勝しました。

【準決勝試合結果】

(「クラブ」は、「ク」と略)

○1部 神埼球友ク6―1西郷少年野球ク、千代田中部少年野球ク5―1千代田東部少年野球ク

○2部 西郷少年野球ク3―2千代田東部少年野球ク、千代田中部少年野球ク7―5神埼球友ク

【決勝試合結果】

○1部

神埼球友	1	0	0	0	0	1
中部少年	2	0	0	3	3	8

(神)原口、幸松―八谷
(中)大坪―松永

○2部

中部少年	0	1	1	5	7
西郷少年	2	2	0	0	4

(中)井上―八谷
(西)菱岡、杉山―杉山、境



▲2部優勝 千代田中部少年野球クラブ



▲1部優勝 千代田中部少年野球クラブ

駅通りチーム全国大会出場

5月27日、第11回佐賀県さわやか・スポーツレクリエーション祭が伊万里市で開催され、ゲートボール競技で「駅通りチーム」(神埼町代表)が見事優勝されました。

9月23日、24日に青森県つがる市で開催される第20回全国スポーツレクリエーション祭に出場されます。

全国大会での健闘を期待します。



自然の恵みと平和に感謝し、豊かな心を培って

〜千代田町軍恩会より寄贈〜

8月1日、千代田町軍恩会(古賀甚吾会長)より千代田中学校に100万円と「平和の訓」の石版が贈られました。

同軍恩会は、遺骨の収集に尽力しつつ悲惨な戦争の実情を語り継ぎ、再び戦争を起こしてはならない、二度と子どもたちに恐怖を与え、ひもじい思いをさせてはならないと、活動を続けてこられました。

平和の尊さ、すばらしさをかみしめながらこれからの神崎市を担う若者として立派になつて



ほしいとの願いが込められた浄財は、「平和の礎 文庫」(図書540冊を購入)として活用させていただきます。ありがとうございました。

市役所前に

河川防災情報表示板を設置

国土交通省佐賀河川総合開発工事事務所では、神崎市庁舎前(国道34号線沿い)に河川防災情報表示板を設置しました。

河川情報としての雨量、水位や排水ポンプ稼働情報に加え、地域情報などの映像を9月4日から提供します。大雨や台風などの避難行動にもぜひ役立ててください。



◎問い合わせ先

佐賀河川総合開発工事事務所
機械課
☎30-4511

日米国際交流の架け橋に



アメリカのユタ州から女子高校生がやってきました。ハッチ・ホリーさん、17歳。YFU国際交流高校生として、6月20日から8月2日までの6週間、千代田町黒津の尾形英敏さん宅にホームステイしながら、月曜日から金曜日までは日本の児童・生徒とふれあい、土曜日・日曜日は佐賀県や日本、日本文化のことを熱心に勉強されました。

6月25日から27日までの3日間は、千代田中学校、6月28日と29日は、千代田東部小学校を訪問されました。小学校での交流を紹介します。

1年生の音楽の時間では、「かもつれっしやシュシュ」でゲームをしたり、ホリーさんのリードで「こぶた、たぬき、きつね」の歌、最後にみんなでABCソングを歌ったりとても楽しく過ごしました。

子どもたちとホリーさんにとって貴重な2日間となりました。



28日、全校朝会で6年生の碓くんが、力強く「Let's enjoy school life!」(学校生活を楽しみましょう!)と歓迎のあいさつ。ホリーさんは、2日間、全クラスで、子どもたちと一緒に勉強しました。

「集落の子は集落内で」

〜丙太田安全パトロール隊〜



8月5日、午後5時、「丙太田安全パトロール隊」の発式がありました。

青少年育成市民会議地区懇談会で毎月5・15・25日の午後5時には全員で、その他の日は集落を3ブロックに分け随時パトロールをすることを決議されて始められたものです。

「集落の子は集落内で」を合言葉に区長、育成推進委員を中心に一丸となって活動されています。

出発式には神埼警察署、詫田駐在所からも出席され、専門的立場からのお話や今後の協力体制の確認もなされました。

高齢者を交通事故から守る

〜住職をアドバイザーに〜



往生寺 (神埼町姉川)	西山是明さん <small>ぜいめい</small>
東楽寺 (神埼町本堀)	田中仁秀さん <small>じんしゅう</small>
浄覚寺 (千代田町境原)	貞包雅文さん <small>さだかね</small>
最勝寺 (脊振町服巻)	田中信勝さん <small>しんしゅう</small>

7月31日、神埼警察署長から「高齢者交通安全アドバイザー」として6人が委嘱されました。

お寺の住職は法要や檀家・門徒の会合などで高齢者との接触も多く、信望も極めて厚いことから、法要などの際に交通安全に関する一口講話をお願いし、高齢者の交通安全意識高揚・交通事故防止を期するものです。

市内では、次の4人の方が委嘱されています。

守ろう交通ルール 高めよう交通マナー

～自転車も ハンドル握れば ドライバー～

中学生・高校生の自転車安全利用強化月間

9月1日(土)～30日(日)

秋の交通安全県民運動

9月21日(金)～30日(日)

佐賀県交通対策協議会・神崎市